

1 はじめに

神奈川県道路を取りまく現状

○神奈川県は、日本を代表する国際貿易港である横浜港や産業技術が集積する川崎市を擁している一方で、箱根、丹沢や湘南海岸などの自然環境や、鎌倉などの歴史、文化を有しています。このため、産業や観光などの幅広い活動が道路交通に依存しています。

○しかしながら、県内の道路の現状をみると、主要な交差点を中心に慢性的な交通渋滞が発生し、輸送効率や移動の快適性が低下しているとともに、多発する交通事故や環境負荷の増大といった問題が顕在化しています。

○また、これからの道路行政においては、自転車、歩行者等の視点からみた施策・事業の展開も重要となっています。

成果志向の展開

道路事業の必要性や妥当性を、数値による成果指標を用いてわかりやすく説明するとともに、その結果を合わせて公表し、今後の施策・事業に反映していく、道路行政マネジメントシステムを推進していきます。



平成17年度達成度報告書／平成18年度業績計画書の策定

神奈川県道路協議会※は、平成16年度より業績計画書・達成度報告書の取り組みをスタートさせました。平成17年度も業績計画で目標を定め、事業を推進しました。



「平成17年度神奈川のみちづくり達成度報告書」では、平成17年度の事業の達成状況を目標値と比較、評価します。

達成度評価を受け、「平成18年度神奈川のみちづくり業績計画書」では、新たな目標を設定します。

本書の見方

神奈川全県と、個性的なエリアのみちづくりについて説明します。

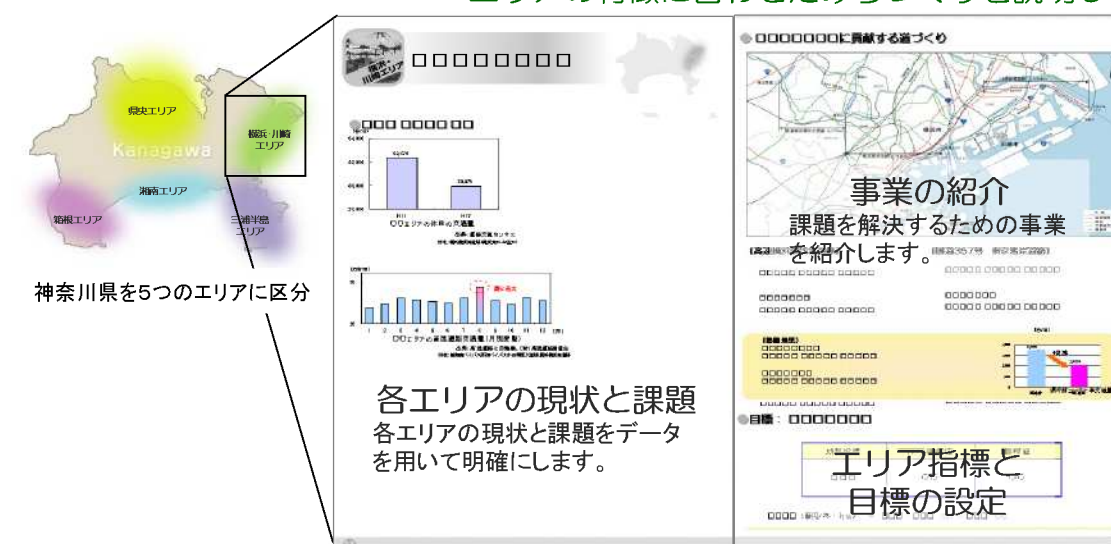
神奈川のみちづくり 神奈川のみちづくりを説明します。



P7～24
神奈川のみちづくり

神奈川の個性的なエリアのみちづくり

神奈川県を5つのエリアに分け、エリアの特徴に合わせたみちづくりを説明します。



エリアの特徴にあわせた道づくりの目標を設定

P27～38
神奈川の個性的な
エリアのみちづくり

「道路見える化計画」スタートしています。

「道路見える化計画」とは、県民の皆様のご理解が得られるよう、道路の現状などを示す様々なデータから課題を「見える」ようにし、最適な方法で重点的かつ効率的に解決していくものです。

達成度報告書、業績計画書の中でも「道路見える化計画」の「渋滞見える化プラン」、「交通安全見える化プラン」、「現場見える化プロジェクト」について取り上げて行きます。

- 道路の課題をデータできちんと把握します。
- 解決を急ぐべきところから重点的に対策します。
- 道路行政をもっとわかりやすく「見える化」します。



※ 神奈川県道路協議会：神奈川県、横浜市、川崎市、国土交通省、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社